

## 平成29年度 小樽市功労者表彰

今年度の小樽市功労者として産業経済部門から1人、教育文化部門から1人、計2人の受賞が決定しました。

### <産業経済部門>

経済振興に尽力

かわべ よしきよ

河辺由清さん

(78歳・富岡1丁目)



平成13年から小樽地方石油業協同組合の理事長を務め、組合の組織力強化と経営改善、組合員の経営基盤の確立支援および危険物施設の事故防止等に努めてくれました。また、後継者不足や施設改善費用の増大等による石油製品の安定供給に対する危機感や地域におけるガソリンスタンドの役割、重要性等について広く周知し、認知させるなど、地域住民の生活基盤の維持に尽力されてくれました。また、各種地域貢献活動にも積極的に参画され、業種の枠を超えて小樽市の経済振興に貢献されてくれました。

### <教育文化部門>

文化芸術の普及・振興に尽力

ささかわ せいさち

笹川誠吉さん

(81歳・幸4丁目)



昭和34年から平成8年まで中学校美術教員を続け、子どもたちへの文化・芸術の教育に力を入れてくれました。また、小樽市成人学校、はつらつ講座において、約40年にわたり水彩画講座の講師を務め、多くの市民に水彩画の魅力を伝え続け、これまで多数の美術市展入選入賞者を育成するなど、大人から子どもまでの文化・芸術の振興に多大な貢献をされてくれました。さらに、公的団体である小樽市文化団体協議会理事や小樽市美術展覧会(市展)運営委員会委員長を歴任し、水彩画の普及・振興のみならず、本市の文化芸術振興に貢献されてくれました。

## あなたの周りの

# 「文化遺産」をご紹介します

教育委員会では、市内にある文化財を総合的に保存・活用するための方針となる「小樽市歴史文化基本構想」の策定に向けた取り組みを行っています。現在は、市内各所の文化遺産候補をリストアップしており、身の回りの歴史文化を記録するために、市民の皆さんのご協力をいただきたいと考えています。

文化遺産の一例として、北海道の食文化に「お口取り」があります。また、クジラ汁やニンジン漬けなどのお正月料理のほか、松飾りやしめ縄の作り方・飾り方など、お正月の習慣には古い伝統が残っている事例が多くあります。



### 「お口取り」

おせち料理を模した北海道・青森県などに伝わる郷土菓子で、主にお正月に食べられています。

さまざまな出身地の方がつくりあげた小樽には、さまざまな風習や食習慣が存在したはず。あなたもその貴重な伝承者です。ぜひ調査にご協力ください。

### 【情報提供の仕方】

- ①文化（食べ物、習慣など）
- ②内容（調理法、作法、購入先など）
- ③時期
- ④その他（出身地、伝承者の年齢など）
- ⑤情報提供者のご連絡先

回答は、ホームページから書式をダウンロードの上、メール（✉syogai-gakusyuka@city.otaru.jp）またはファクスをお送りください。また、書式のダウンロードが困難な場合は、教育委員会文化財担当までお問い合わせください。

●お問い合わせは、総合博物館 ☎2523、☎2678 へどうぞ。